

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 令和5年8月18日(金)  
午後1時30分から午後2時55分まで
- 3 場所 第2・第3委員会室
- 4 出席議員 15名
- 5 欠席議員 なし
- 6 事務局出席者 議会事務局長 丹羽至、同主任 丹羽亮二
- 7 会長あいさつ
- 8 協議事項

(1) 今後の行政視察の受入れについて

片岡会長：資料を基に説明。

(2) 今後の意見交換会について

片岡会長：9月定例会後にサポーターとの意見交換会を行う。10月10日(火)19時はズーム、14日(土)10時は対面で開催したい。いずれか出られる日に出ていただきたい。何か意見はあるか。特になさそうなので、そのようにする。この場で出欠を取りたい。10日は、大野議員、塚崎議員、梅村議員、水野議員、谷平議員、井上議員、正・副議長、合計8名。14日は、榎谷議員、木村議員、日比野議員、鬼頭議員、須藤議員、伊藤議員、堀江議員、正・副議長、合計9名。次に役割について、10日の司会進行は正・副議長、記録は谷平議員。14日の司会進行は木村議員、記録は鬼頭議員とする。続いて、若者との意見交換会について、議長と私でせいじ〜ると話をして進めている。日程は11月23日(祝)で考えている。チラシ案を配付した。このような形で進めたいと議長と私で話をしている。この場で意見があればいただきたい。せいじ〜るも参加者を集めるが、議員も参加者集めに協力してほしいと言われている。

井上議員：おむすびトークという名前の願いはどういう意図があるのか。

片岡会長：議会と若者を結ぶということ。意見交換会だと堅苦しい。

井上議員：おむすびを作る時のように若者と議員が力を合わせて何かを作るという意味で理解してよろしいか。

片岡会長：よい。

谷平議員：募集の人数はあるのか。

片岡会長：人数も提案していただければ。やり方も決めていかないといけない。まずはこの日程でよいか確認したい。やるとなれば、せいじ〜ると細かな打ち合わせをしていくが、20人〜30人が定員かなというイメージはある。

谷平議員：議員が声をかけるのは一人か二人か。

片岡会長：ノルマがあるわけではないが、集まりが悪ければ議員も協力しなければならない。

水野議員：1点目に、こういうビラは市内の中学、高校で配付、掲示することは可能か。2点目に、最近の若者はリアルの会場はハードルが高い子も多いかと思う。オンラインとのハイブリッドで開催するという選択肢はないか。1点目は希望。2点目は皆さんの意見をお伺いしたい。

片岡会長：1点目については、これをどう配付するかはせいじ〜ると話し合い、学校で配付することも考えられる。2点目については機材の関係もある。想定していなかった。そういう意見もあれば考える必要もあると思う。

大野議員：ハイブリッドをやろうとすると、議員が一人ハイブリッド専用になり、画面切り替え等を担当することになり、テクニク的な問題で全ての人ができるわけではないと思う。

片岡会長：対面の人にも見せないといけないので大きな画面で映さないといけない。機材的に難しいかと思う。選択肢を増やすのはいいことだと思うが、今回に関しては想定していなかった。

梅村副会長：おむすびトークを作り上げるうえで、今後どういう予定なのか。チラシを見ると主催が岩倉市議会で協力がせいじ〜るとなっているが、実態が主催せいじ〜るで岩倉市議会が協力程度なのであれば、そのようにしたほうがいいのではないか。岩倉市議会が主催なのであれば、周知や募集について細かく決めていかないといけない。せいじ〜るがほとんどのことを行うのであれば、実態に合うように表示すべきでは。そういった意見は話し合いで出ていないか。

関戸議員：せいじ〜るからマンパワーの話も出ており、今度は共催でということでは話があった。協力という形でも彼らが手を抜くということではなく、素晴らしい意見が出るので、意見を聞きながら進めていきたい。実態としては、ほぼせいじ〜るが動いているが、せいじ〜る主催とすることについては先方に断られた。では、共催にする方向で話をする。

片岡会長：実態はほぼすべて考えていただけるところ。非常に前向きに言っているから、この機会を有効に使えればと思う。せいじ〜るからは、この日程でやるということだけ決めてほしいとのこと。やり方については、前回のおむすびトークを参考に次回お示しするので、まずはこの日程でやるということで、意見がなければ進めていく。場所についても色々案が出ており、今後検討する。こちらで日程を決めたため、都合がつかなければ欠席で構わないので予定しておいていただきたい。

### (3) 議会サポーターの定員について

片岡会長：前回でも議題で出して、今回定員についての案を示させていただく。今までの実績人数を資料にまとめた。これを基に2つの案を示した。

案1は30名。案2は定員撤廃。

水野議員：物理的制約もあるため定員自体は設定してもいいと思う。やり方として「おおむね何名程度まで」とするなどの方法もある。

塚崎議員：現状と変える必要はないと思う。市議会としてサポーターをどうしていきたいのか分からない。増やしたいのだと思っていた。

片岡会長：サポーターに何を求めるのかというところにもつながると思う。これからはっきりさせないといけないが、サポーターの募集要項の中に、意見を求める内容について、議会運営に関わることとしている。現状、それ以外のこともサポーターの声として受け入れているので、そこをどうしていくのか。なんでも意見を受け入れるのであれば要綱も変えていかなければいけない。もっと幅広く意見を聞くということであれば定員を設ける必要がないということにもつながる。

大野議員：議会サポーターは政策サポーターとは違う。議会サポーターであれば変えないほうがいい。おおむね30名でもよいと思う。

片岡会長：この場で定員をどうするか今回決めるつもりはない。皆様に案について考えていただきたい。現状、サポーターの声の様式には項目が出ているが、この項目も見直すとよいと思う。サポーターからどういった意見を聞いていくか、皆さんの意見はどうか。

大野議員：意見交換会の中でも最初は議会運営のことを聞いて、その後は幅広く聞いているので、今のままでいいと思う。

梅村副会長：サポーターの声の項目や、サポーター制度についての説明資料も見直さなければならぬと思っている。実際議会運営に関する中でやってきた中で、たまには運営の意見も出てくるが、多くは身近な課題や暮らしの問題の意見も多かったと思う。そういった意見を取り上げるサポートをしてもらおうサポーターになってもらってもいいのかと考えていて、そうしていくならサポーターの声の項目や制度の説明資料を見直してもいいと思う。ほとんどは傍聴の感想を聞いている実感があるので、このままでいいのかなと思う。

大野議員：議会サポーターの中で、一回も議会や議会だよりを見ていない人もいる。純粹に初めて議会を見た方の感想を聞くのも大切だと思う。

梅村副会長：感想を聞くことが無駄というわけではない。それであれば、制度の趣旨の中に、少しでも議会に関心を寄せてもらうようにこの制度を行う、といったような文言を付け足すなどして制度を確立していったら

いいかと思う。

片岡会長：目的について、議会運営にとらわれなくてもいいと少し思うし、実際に今の実態がそう。実態と、要綱、説明資料が乖離しているところがある。そこを運用しながら6年やってきたので、実態に合わせていくとうか、我々が何を求めているかにもよるが、色々な意見を求めていくのであれば、そういったことを明記していくのも大事ではないかと思う。要綱や目的の文面についても変えていかなければならないと思う。修正の必要があると一致できれば修正していきたい。定員に関しても問題提起として議題に挙げている。色々な意見が出ており、決めるのが難しいがどうか。

大野議員：視察の時に定員100名の根拠の説明できないというところから、そろそろ現実的な数字に戻したほうがいいと思う。

梅村副会長：もともと100名にしたのは、サポーター同士でサークルができるといいという意見も出ていた。サポーターに何を求めるかをきちんと決めないと定員が出てこないと思う。

木村議員：大野議員が言ったように、視察の時に100名の根拠が答えられないので変えるのはいいと思う。ただ、定員を設けることによって新たな実務が発生するものは議員と事務局の負担となるのでやめるべき。定員を撤廃し、臨機応変に対応するというのが現実的だと思う。確か今年の最後の意見交換会の時に、サポーターが横のつながりの話をしていたので、さっき梅村議員が言ったようなことも自主的に起こったらいいなと思っている。サポーターに依頼する職務については、議会を知ってもらうことも職務だと思うので、そういったことも含めて入れるといいと思う。

片岡会長：定員そのものを決めるよりは、100名という数字は撤廃して、定員を設けずに、爆発的に増えたときに柔軟に対応するという形でいかがか。幅広く受け入れたいという思いはあるということで、定員を撤廃する方向で、次回の議会基本条例推進協議会で示す。それで承認いただければそれで進めていく。要綱や説明資料の文言も案を示して、次回引き続き協議したい。様々な意見感謝する。

#### (4)「市議会サポーターの声」の回答サイクルについて

片岡会長：定例会ごとにしっかり締め切りを作り、議会運営委員会で回答を協議し、議会基本条例推進協議会で回答を提示したのち、サポーターとの意見交換会で質問と回答を報告するサイクルにしてはどうか。今までも、議会運営以外に関する質問について、所管する委員会に送って回答を作成するのかなど、曖昧になっている。もし、議会運営以外の意見が来た時

にどうするかもはっきりした方がいいのではないかと思う。回答が遅いという話もあったように思う。こういったサイクルで行っていくことに意見はあるか。

大野議員：3カ月ごとに回答を出そうという方向性で決まったのではなかったか。

梅村副会長：結論がでないままコロナ禍になった。9月定例会であれば、定例会の推進協の3日前を締め切りにして、一覧にして皆さんに示し、内容によって質問の担当所管割り振りについて合意を取って、それを議会運営委員会で集約した後、翌月末までにホームページに公表するやり方にしようとしていた。

片岡会長：毎月やるということか。現状それはできていない。余裕があるかどうか。1カ月パターンと3カ月パターンをそれぞれやってみることもできるが。サポーターからしたら3カ月待たされるのは遅いか。

大野議員：回答不要のものも最近は多い。回答が必要なものがあれば出していただいて早めに回答できるようにしたほうが良いと考える。

片岡会長：回答がすぐできるようなものであればすぐ回答していくのが誠意ある対応だと思うので、そういったものはサイクルにとらわれずに回答していく。最低限これは守るというサイクルということで、これを一回やってみたいと思う。

#### (5) 議会サポーター再任の申込み期限について

片岡会長：資料に基づき説明。

#### (6) 岩倉市防災訓練について

片岡会長：今年は議会としての参加は行わない。見学は自由ということで各自で見に行くことは構わない。議会で独自の訓練として行っただろうかということで案を示している。何か意見はあるか。特にないようなので、日時も含めて会長一任として決定させていただく。

梅村副会長：9月24日はどんな形で議会は参加なしとなったのか。

事務局：今回の訓練については3役説明も防災会議も済んでいない。そこで決定されて、議会としては呼ばないと確認されることになっている。その前段階で担当課から聞いている話である。

谷平議員：私もどうして参加しないのか疑問。

片岡会長：そういう打診があったが、どう思うか。

谷平議員：議会として別でやるのではなく、一年に一回全員でやるのであれば、それに参加して色々見て体験したいと私は思っている。議会来なくて

いいというのは何なのかと思う。

片岡会長：規模縮小傾向にあるからだと思う。9月の推進協議会だと直前になってしまうので、入った情報をここでお伝えしている。

大野議員：議会独自の訓練として、前回災害用伝言ダイヤルを練習したときに私はあまりうまくいかなかった。ウェブ版伝言ダイヤルの171で一回訓練してみるのはいかがでしょうかと反省で発言したと思うので、それでやってみるといってもいいかと思う。

片岡会長：内容を確認して検討する。防災訓練について他に何か。個人として行く分にはいいと思う。

谷平議員：防災服を使わないと無駄になる。

榊谷議員：各小学校区で防災訓練をやっているのだから、そこでは着て行っているのでは。

関戸議員：9月24日の件については、議会からお願いしてテントを立てて訓練をするという意見が強いというご判断か。そういう意見ではないのか。防災服を着る機会があればよいのか。

片岡会長：有事の際に着るものなので、着る機会がないのが一番いいとは思いますが。

水野議員：9月24日個人として行く場合、防災服を着るのか。

片岡会長：それはいいと思う。見学は構わないと言われているので。

木村議員：防災会議は議長が出るので、そこで今回なぜ議会を外したのかということは確認していただいて、道理のある説明ならそれでいいかと思うが、規模が戻った状況の場合は議会も参加するというところで主張していただければ。

片岡会長：理由は聞いていないので、また報告させていただく。

#### (7) 議会講演会について

片岡会長：コロナ禍で開催できずにいた。開催していきたい。何かテーマがあれば。資料では防災を挙げている。4年前の防災に関する講演は100人以上の参加者があり、市民は防災に対して意識が高いと改めて思った。防災に限らず、予算10万円以内で講演していただける方がいれば、次回までに紹介いただきたい。

水野議員：時期の予定は。

片岡会長：1月から2月上旬で開催できればと思う。

#### (8) 互助会での視察先について

片岡会長：候補地として姉妹都市である福井県大野市とした。何を見に行く

かについては、議会として高校生議会、子ども議会を行っているので、その話を聞いてはどうかと考えている。次回までに提案いただければと思う。

#### (9) その他

片岡会長：反問の実施について、細かなルールを決めておらず、現状、議長の采配による。そのため、要綱と運用例を作成した。これを議会運営委員会で協議をしていただきたいと思う。何か意見や質問はあるか。

関戸議員：配布してあるのか。

片岡会長：今日は配布していない。全員のレターケースに要綱と運用例を配付することとする。

#### 9 その他

大野議員：ふれあいトークの開催時期を決めなければいけない。

関戸議員：2月は実施したい。9月議会の後に関してはまだ考えていない。会長と話し合って次回報告する。

片岡会長：改選もあり決算の意見交換会については準備できていなかった。次回報告する。

梅村副会長：9月の決算審査後の政策提言の意見を聞いて開催したこともあるので、まだ間に合わないことはないと思う。先日のサポーターとの意見交換会で出た意見で、サポーターさんが回答を欲しいと言わなくても取り上げるべきものがあれば取り上げて協議していくといいと思う。

片岡会長：要回答ではないことでも議論すべきことは議題として挙げていく。

事務局：本日折り畳み式ヘルメットを配布した。これは防災服等と同じく貸与品。令和2年8月に岩倉市議会議員防災服等貸与規定を設け、貸与品は貸与品管理簿で管理運用する規定となっている。事務局で貸与品管理簿を全員分作成したため、本日貸与した旨を記録しておく。

関戸議員：今借りているヘルメットの返却はいつまでか。

事務局：近日中に事務局に返納していただければと思う。その際は旧ヘルメットの返納日も記録しておく。

片岡会長：初当選議員は持っていないが、他の議員は返却をお願いする。